

2016 第32回

—よき日をめざして—

たいしよう人権展

異和共生～ダイバーシティ(多様性の受容)～

とき

2016
(平成28年)

12/6(火)▶12/10(土)

午前10時～午後8時

※ 6日(火)は午後1時から、
10日(土)は午後4時まで

入場無料

ところ

大正区コミュニティセンター

(大正区千島2-6-15) ※地図は裏面をご覧ください。

申込不要

内容

- ☆パネル展示 ☆人権啓発ビデオコーナー
- ☆大正区内小中学生の「人権啓発標語・ポスター」コーナー
- ☆障がいのある方の体験講座 ☆障がい者就労施設による展示・販売会
- ☆講演・演奏・落語(手話通訳あり)



社会人落語家
切磋亭琢磨

12月6日(火)

午後2時～午後3時30分

「笑って考えよう！ 身近な人権」

三重県津市に生まれ、大学時代から四十余年の落語歴と三十二年の教員歴を活かし、現在、講演会と落語会の二つの活動をしています。日常の中にある身近な人権問題に気付いてもらおうと精力的に活動している社会人落語家で、小学校教諭として1年間に教え子を二人亡くした経験や、妻を看取った体験を交えて「命の大切さ」さらには「子どものいじめ」等の身近な人権問題について、落語の活かし方を話します。



トーク&コンサート
まーちゃんバンド

12月7日(水)

午後7時～午後8時

「唄って踊って 平和をつかめ」

沖縄県西表島出身の大地と心に木を植える三線アーティスト「まーちゃんうーぼー」が率いるバンド。島唄やオリジナル曲、ブドゥリ太鼓やパパイヤダンスなど、老若男女みんなで楽しめるステージを展開。「風人(かじびとう)＝自然と共に生きる人」をコンセプトに、命を大切にすること、自然と共に生きることの大切さを伝え、沖縄からの平和の願いを届けている。

現在、地球に緑と笑顔を増やそうと、市民団体「NGO風人ゆいまーる」の主宰や「中国・内モンゴル植林ツアー」また、東日本大震災から福島県の子どもの避難や受け入れ活動に力を入れている。



三色の声をもち歌姫
悠以

12月8日(木)

午後2時～午後3時30分

「自分らしく生きる」

兵庫県尼崎市で男性として生まれる。体は男性だが心は女性という「性同一性障がい」と向き合いながら音楽の道へ進む。彼女の歌声は、その歌唱力はさることながら、男声・女声の使い分けをして「二色の声を持つ歌姫」と評される。性的少数者(LGBT)への理解は進む一方で、今も職業や住居などの面で制約を受ける人は少なくない。「当たり前」の事を当たり前でできる社会になるように「その思いを胸に現在、コンサート活動・テレビ出演・講演会と精力的に活動している。



アフリカンマリンバアンサンブル
Nkosi Africa
(ジョージア・アフリカ)

12月9日(金)

午後2時～午後3時30分

「在日アフリカ人として ～異文化理解のメッセンジャー～」

南アフリカ共和国で3本の指に入るマリンバ奏者である、ジョゼフ・ンコシを中心として結成されたグループで、南アフリカの伝統楽器マリンバや歌を織り交ぜ、アフリカの伝統音楽やオリジナル曲を演奏します。アパルトヘイト廃止後に様々な人種の人々が公共の場所で歌えるようになった「がんばろう、前に進もう」といった意味の「ジョジョローザ」や、母親に感謝の気持ちを伝える「ママリエ」等の曲も演奏されており、在日アフリカ人として、南アフリカ共和国で行われた人種差別についてのお話や、互いに関心を持つことの重要性を歌を通して語ります。